

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オアシスタウンキセラ川西	階数	地上3F
建設地	兵庫県川西市	構造	S造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	3,260 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2018年11月1日
敷地面積	20,552 m ²	作成者	類設計室 西口
建築面積	11,993 m ²	確認日	2018年11月7日
延床面積	31,615 m ²	確認者	類設計室 松井

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q のスコア = 3.2</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.1</p>
<p>LR のスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 ・周辺景観に配慮して道路及び隣地に面して緑化を行い、施設の利用しやすさに配慮してテラスを設置することで、潤いと賑わいを創出する外構計画とした。</p>		<p>その他 特になし</p>
<p>Q1 室内環境 F をほぼ全面的に採用しており、化学物質の発生源を無くすることで室内環境を良好さを確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能 ・誰もが利用しやすい店舗とするために、移動円滑化経路を確保し、高齢者や車椅子利用者の動線に配慮している。階高・天井高さとも高く設定し、ゆとりのある空間を確保した。また平面形状は外周部を強固に固め、内壁</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) ・設備機器は、3階の上部が開放部と屋上にまとめて設置し、排熱による影響を抑える計画としている。 ・空地は出来る限り緑化を行い、道路・隣地に沿って植栽帯を設けるなど、緑豊かな外構計画としている。</p>
<p>LR1 エネルギー 高効率の空調機器・給湯機器・LED照明を採用することでエネルギー消費量を削減している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 特になし</p>	<p>LR3 敷地外環境 ・利用者の利便性に配慮し、適切な車両動線及び駐車スペースを確保している。また、地球温暖化対策としてライフサイクルCO₂排出率を一般的な建築物の70%程度に抑えた設計としている。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L: Load** (建築物の環境負荷), **LR: Load Reduction** (建築物の環境負荷低減性), **BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される